



N I S S Oホールディングス株式会社（東証プライム市場 コード:9332）

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

 働きものを、幸せものに。 NISSOホールディングス
2025年8月

**N I S S O H D、前年比減収減益も予算計画どおり進捗
研修・採用で投資フェーズ進行、エンジニア系売上高はYoY + 17.2%**

N I S S Oホールディングス株式会社代表取締役社長執行役員 清水竜一

- 1 決算概要（2026年3月期 第1四半期）
- 2 サービス別業績（2026年3月期 第1四半期）
- 3 インダストリー戦略
- 4 日総グループの人材育成
- 5 日総グループ トピックス
- 6 今後の見通し（2026年3月期）
- 7 株主還元方針
- 8 財務状況（2026年3月期 第1四半期）

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

1

清水竜一氏：みなさま、こんにちは。代表取締役社長執行役員の清水です。本日はお忙しい中、当社の第1四半期決算説明動画をご覧いただき、誠にありがとうございます。ただいまより、説明を始めます。

本日は、こちらのスライドの目次に沿って進めていきます。

2026年3月期 第1四半期 サマリー

- 主に研修、新卒採用に対しての投資フェーズにあり、また暦の都合から前年同期比で稼働日数が減少することは織り込み済み。前年同期比で減収減益も予算に対しては計画通り進捗
- オートモーティブは、米国関税の影響による国内生産への影響は限定的ながら、主要メーカーからの人材ニーズは様子見に変化。売上高は請求単価が上昇するも契約満了による在籍人数の減少もあり前年同期比で減少
- セミコンの売上高は、請求単価上昇に加え、在籍人数の増加もあり前年同期比で増加
- エレクトロニクスの売上高は、稼働は増加するも在籍人数の減少もあり前年同期比で微減
- エンジニア系は、前年同期比で在籍人数が増加し大幅増収。一方、配属前の新卒者に対する研修コストが増加、また設備保全を主体とする請負現場で、今後の増産対応を目的とした計画的OJTが粗利に影響

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

2

まずは、決算概要のサマリーについてお話しします。

みなさまもご承知のとおり、現在は新卒採用が大幅に前倒しされている状況です。特に、第1四半期は2026年度入社の方々の採用を数ヶ月前倒しで進めており、投資フェーズにあります。

前年と比較すると、特にゴールデンウィークの暦の関係で稼働日数が減少し、全体の収益に影響を与えています。しかし、予算については計画どおりに推移していることをお伝えしておきます。

また、オートモーティブインダストリー（自動車・EV関連）については、米国の関税による生産への影響は限定的でありつつも、「これから先どうなるのだろう？」とお客さまが様子を見ている状況であったことから、その影響で在籍人数がやや減少しています。

一方で請求単価が上昇しており、結果的に若干相殺されるかたちとなっています。この点については、後ほど詳しくご説明します。

セミコンダクターインダストリー（半導体・半導体製造装置関連）では、単価上昇に加え、在籍人数が前年同期比で増加していることもしっかり反映されています。

エレクトロニクスインダストリー（通信機器・電子部品）の売上高に関しては、稼働は増加しているものの在籍人数が若干減少しており、微減という状況です。

一方、エンジニア系の人員は、前年同期比で大幅に増加しています。しかしながら第1四半期ということで、新卒の方々の育成のための研修コストが前倒しとなっています。

さらに、今後新たに立ち上がる新規工場に向けた装置技術者を育成するため、現場でOJTによる訓練を行っており、こちらが粗利に若干の影響を及ぼしています。こちらについては、後ほどご説明します。

ポイント

売上高は、前年同期比で暦による稼働日数の減少及び、製造生産系人材サービスの在籍人数の減少に対し、請求単価上昇に加えエンジニア系人材サービスの在籍人数の増加もあり、0.8%減少に留まる。

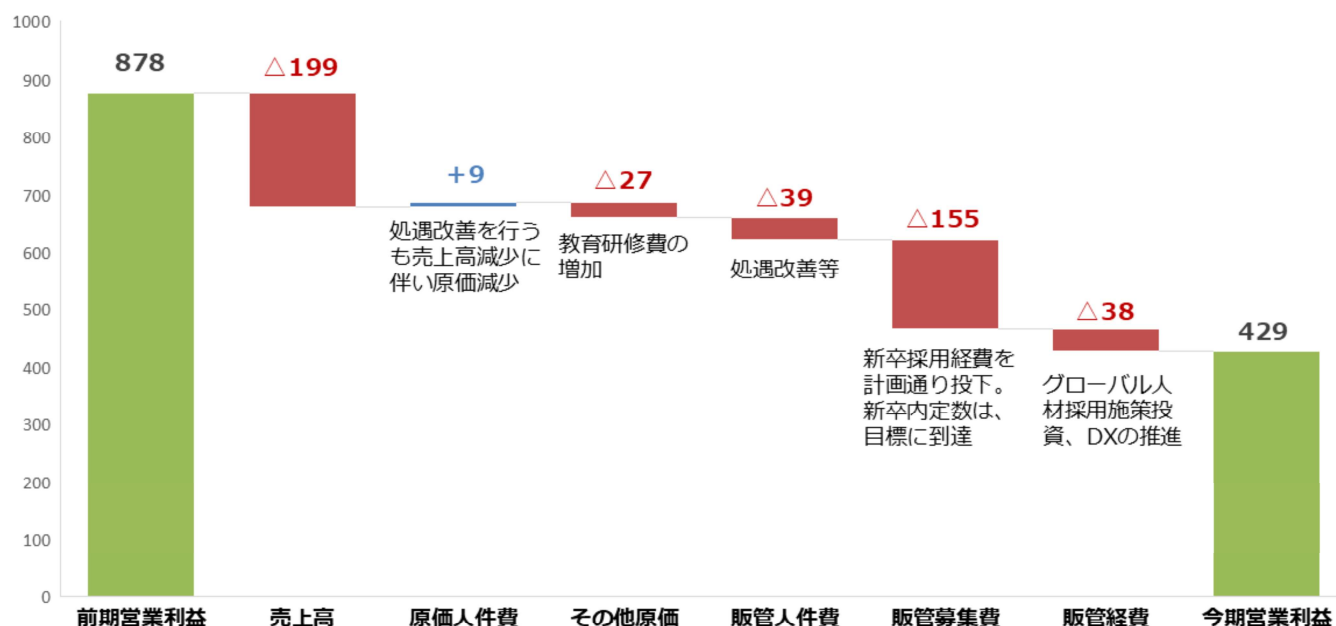
(単位：百万円)

	25年 3 月期 第 1 四半期		26年 3 月期 第 1 四半期		前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	25,164	100.0%	24,964	100.0%	△199	△0.8%
売上総利益	4,266	17.0%	4,050	16.2%	△216	△5.1%
販管費	3,388	13.5%	3,620	14.5%	232	6.8%
営業利益	878	3.5%	429	1.7%	△448	△51.1%
経常利益	887	3.5%	432	1.7%	△455	△51.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	511	2.0%	218	0.9%	△292	△57.2%

連結業績のハイライトです。売上高は前年同期比0.8パーセント減少、営業利益は前年同期比51.1パーセント減少しています。

詳細については後ほどご説明しますが、製造生産系人材サービスの在籍人数は減少しているものの、エンジニア系人材サービスの在籍人数の増加もあり、売上は前年同期比0.8パーセントの減少にとどまりました。

連結営業利益 前年同期比 (単位：百万円)



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

4

先ほどご説明した、前年同期比における営業利益の分析資料です。暦の影響によって、1億9,900万円のマイナスが生じています。

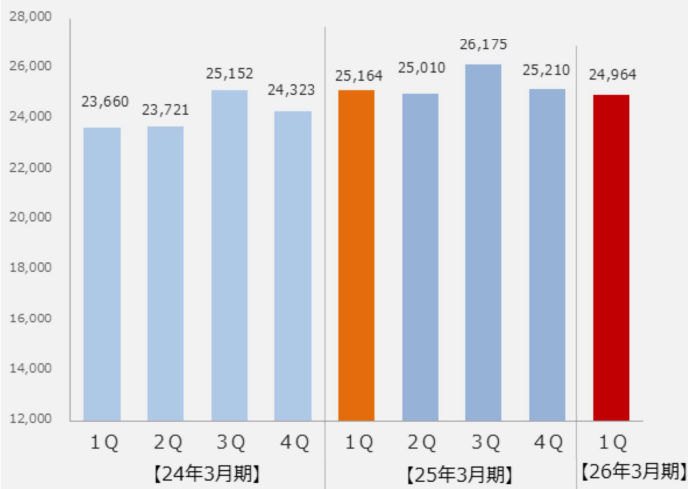
特に注目すべき点として、新卒採用の経費が前年同期比1億5,500万円増加しており、非常に大きな要因となっています。こちらは、従来と比べて3ヶ月程度、新卒の方々のアクションが早まっている流れが影響したと考えています。

我々も例外ではなく、来期入社予定者のために前年同期比で1億5,500万円多く経費を投下しましたが、おかげさまで180名の新卒予定人数に対し、ほぼ内定が完了しました。今後は、新卒採用費用が減少する見込みです。

一方、グローバル人材採用のための費用が一部先行投資となっており、これが結果的に前年と比較して営業利益が減少する大きな要因の1つとなったことを申し上げます。

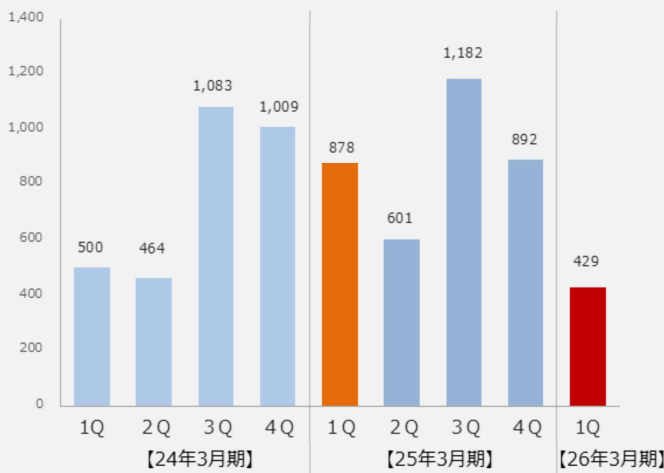
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



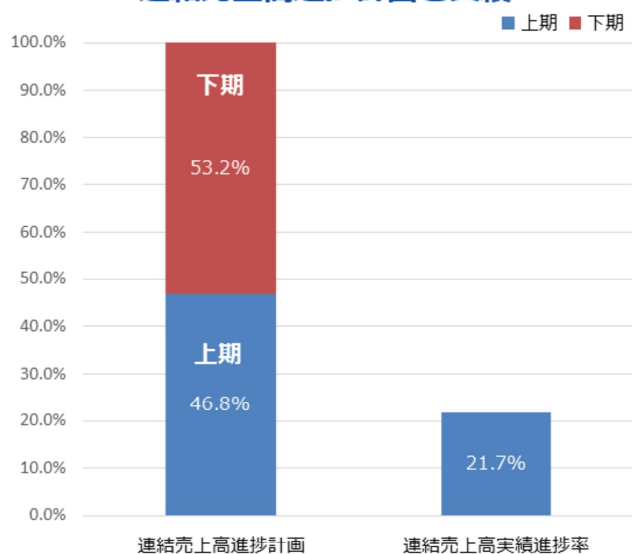
Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

5

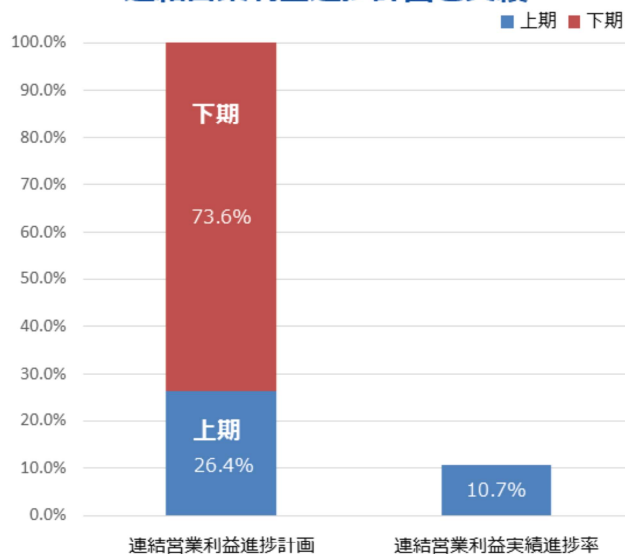
四半期単位の売上高と営業利益です。前年は少しいレギュラーな年でした。通常、営業利益は上期が1とすると、下期が2となるバランスがスタンダードな状態です。ただしカレンダーによっては、1対2の比率が1対2以上になることも、1対2以下になることもあります。

ちなみに、2024年3月期は上期と下期の利益の割合が1対2.2というバランスになりました。今回はカレンダーの影響のほか、新たに仲間に加わった会社の決算を第2四半期から取り込むなど、さまざまなイレギュラーな要因があることから、1対2.8という状況になると計画しています。

連結売上高進捗計画と実績



連結営業利益進捗計画と実績



今期は暦の都合等もあり下期偏重を想定。1Qは投資フェーズにより減益となるも計画通り進捗
M&AしたMan to Manホールディングスとオールジャパンガードの業績は2Qより連結

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

6

先ほどお伝えした営業利益の1対2.8という割合が、スライドの図の右側にあたります。上期が26.4パーセント、下期が73.6パーセントとなり、1対2.8というかたちで推移しています。

図の下段に記載しているとおり、暦の影響と、第2四半期から損益計算書にも反映されるMan to Manホールディングス社およびオールジャパンガード社の業績が影響していることをご理解いただければと思います。

サービス別業績：グループ会社一覧

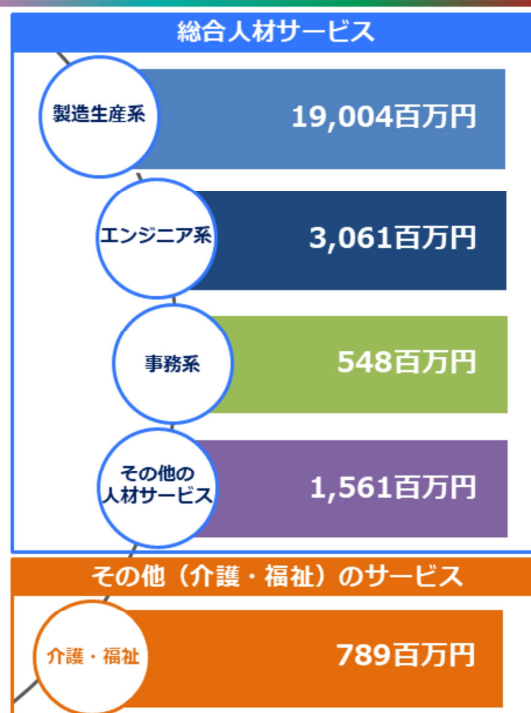
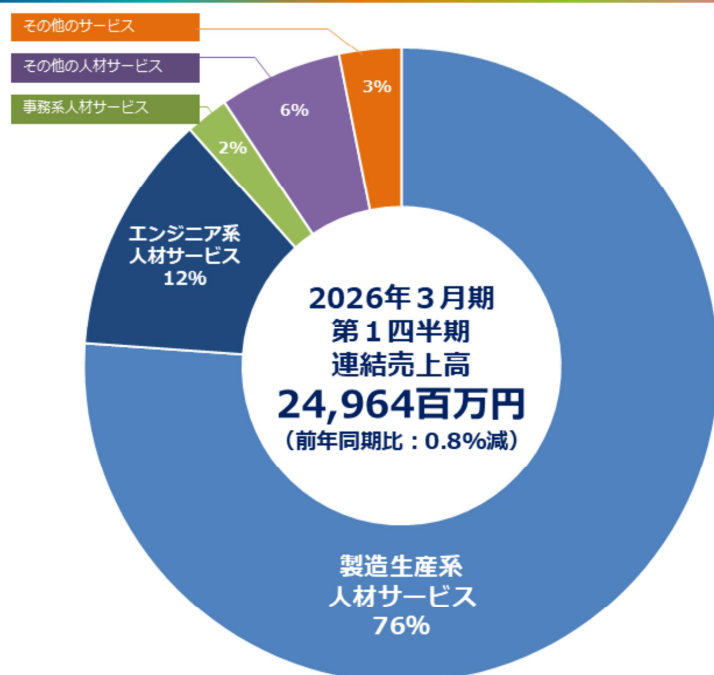
NISSOホールディングス株式会社	
製造派遣、製造請負、職業紹介等	
製造請負、製造派遣 等	
製造派遣、ITエンジニア派遣、FA支援 等	
事務系派遣、BPO 等	
人材派遣、人材紹介 等	
軽作業請負、物販 等	
製造生産系 人材 サービス	
エンジニア系 人材 サービス	
事務系人材サービス	
その他人材サービス	
MantoMan Holdings	
製造派遣、製造請負、職業紹介等	
人材紹介 等	
生産受託・物流受託 等	
Webシステム開発・行政受託事業等	
製造系システム開発受託等	
施設介護、在宅介護 等	
施設警備・交通警備 等	
製造生産系 人材 サービス	
エンジニア系 人材 サービス	
その他人材サービス	
その他のサービス	
ツナググループ・ホールディングス株式会社 株式会社LeafNXT 株式会社SUBARU nw Sight 株式会社フォース	

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

Man to Manホールディングス社とオールジャバングード社が新たに加わっています。

サービス別業績：サービス別売上高

※内部取引は消去



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

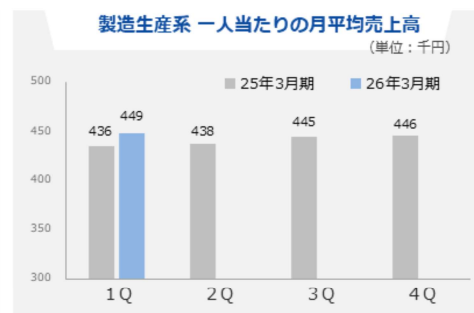
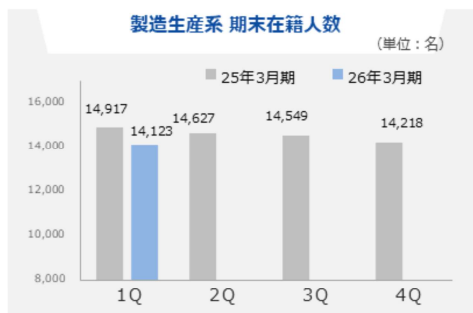
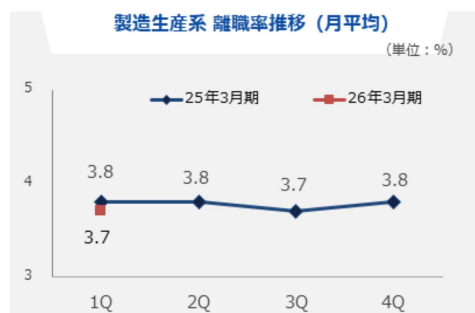
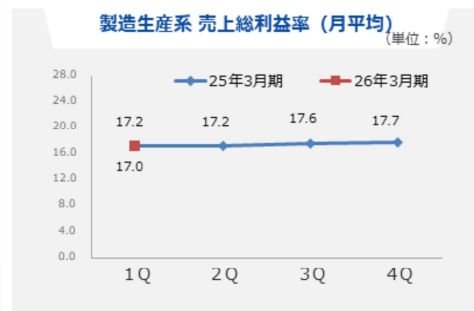
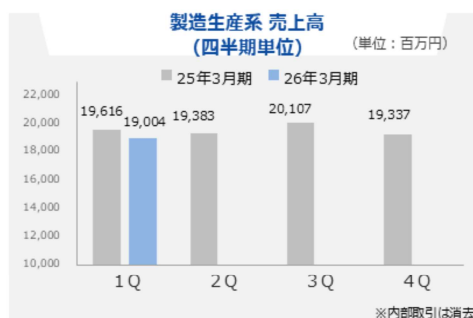
8

サービス別の売上高です。前年は製造生産系人材サービスが77パーセント、エンジニア系人材サービスが11パーセントとなっています。

今年に入ってエンジニア系人材サービスの比率が1ポイント上昇し、製造生産系人材サービスの比率が逆に1ポイント下降していることが、こちらのグラフから読み取れます。

ポイント

製造生産系の売上高は、オートモーティブ、エレクトロニクスでの在籍人数減少に加え、エンジニアへのキャリアチェンジ推進もあり前年同期比で3.1%減少。



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

9

製造生産系人材サービスについてです。エンジニアへキャリアチェンジされた方々もいらっしゃるため、前年と比較して794名減少しています。

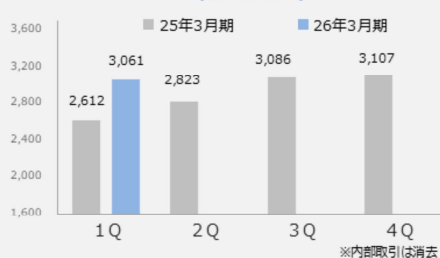
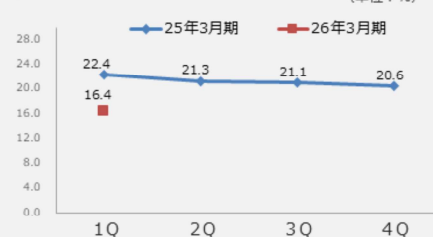
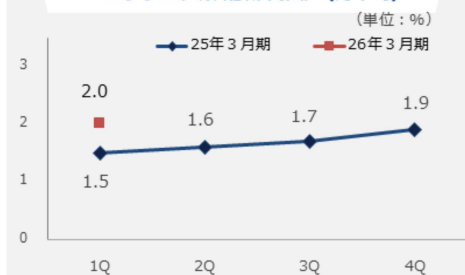
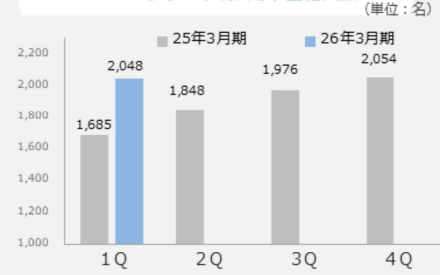
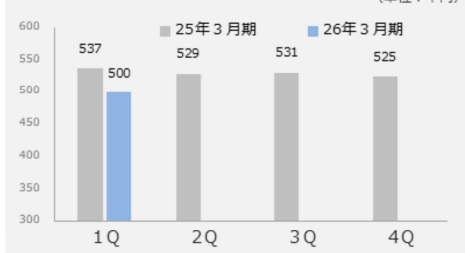
在籍ベースで見ると前年同期比5.3パーセントの減少ですが、単価交渉の影響等もあり、売上ベースでは前年同期比3.1パーセントの減少にとどまっている状況です。製造生産系の離職率の推移については、記載のとおり低い水準で推移しています。

スライド右上の折れ線グラフに示されているように、製造生産系の売上総利益率は前年17.2パーセント、今年17.0パーセントとなっており、「下がっているのではないかと」感じられるかもしれませんが、こちらは暦の影響が反映されていると見て良いと考えています。

下段では、製造生産系における一人当たりの月平均売上高を示しています。スライドに記載のとおり、前年同期比で1万3,000円の上昇が見られますが、これは単価上昇の影響や稼働状態によるものであることが読み取れます。

ポイント

エンジニア系の売上高は、在籍人数の増加もあり、前年同期比で17.2%増加。一方、売上総利益率は、育成の投資フェーズでもあり低下するも、2Q以降順次人員の配属を進め改善を見込む。

エンジニア系 売上高
(四半期単位) (単位：百万円)エンジニア系 売上総利益率 (月平均)
(単位：%)エンジニア系 離職率推移 (月平均)
(単位：%)エンジニア系 期末在籍人数
(単位：名)エンジニア系 一人当たりの月平均売上高
(単位：千円)

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

10

エンジニア系人材サービスです。

売上高は前年同期比で4億4,900万円増となり、17.2パーセント上昇しています。エンジニア系の在籍人数についても、363名と大幅に増加しています。

ここでご説明しておきたいのは、エンジニア系人材サービスにおける売上総利益率についてです。1つ目は、前年と比較して稼働日が少なく、月給制の社員が中心である背景を踏まえると、稼働日が少ない分が利益にマイナスの影響を及ぼしている点です。

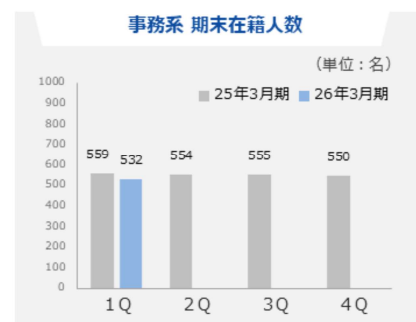
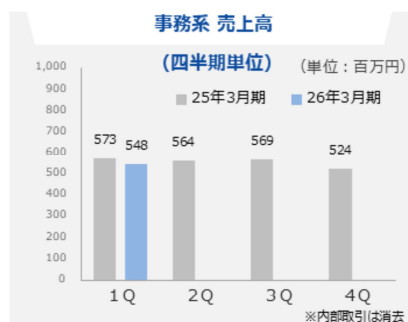
2つ目は、以前からお伝えしているとおり、半導体の新工場に配属する設備技術者として育成するためのOJTを行っていることが影響している点です。

したがって、現在教育中の社員がエンジニアとして配属されることで、この収益性は徐々に改善してくると思っています。

また、エンジニア系人材サービスの一人当たりの月平均売上高が下がっている理由については、稼働日の影響だけでなく、エンジニアの社員が装置メーカーなどで実際の装置のアセンブリを行いながらその構造を学ぶOJTを実施していることも影響している点をご理解いただければと思います。

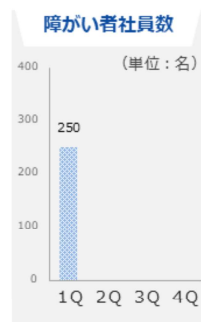
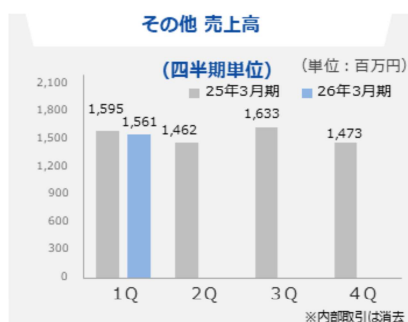
事務系人材サービスについて

1 Qの事務系の売上高は、在籍人数の減少もあり前年同期比で4.4%減少。



その他の人材サービスについて

- 株式会社ニコン日総プライムは、プライム社員の活躍を支援、1 Qのプライム社員数は706名。
※プライム社員：高齢者社員
- 日総ぴゅあ株式会社は、多様な人材が活躍できる職場環境を構築し、1 Qの障がい者社員数は250名。



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

11

こちらのスライドについては、以前からお話ししているとおり、新しいテクノロジーへの置き換えにより、事務系人材サービスが振るわない状況にあります。

一方、ダイバーシティ経営においては、高齢者社員、いわゆるプライム社員や障がい者社員の雇用状況は前年とほぼ同様のレベルで推移していることをお知らせしておきます。

ポイント

- 介護施設全体の入居率は、94.5%と引き続き高水準で推移。
- 売上高は、前年同期比で3.1%増加。
- 売上総利益は、通所介護サービスの利用者増加により前年同期比で15.2%増加。

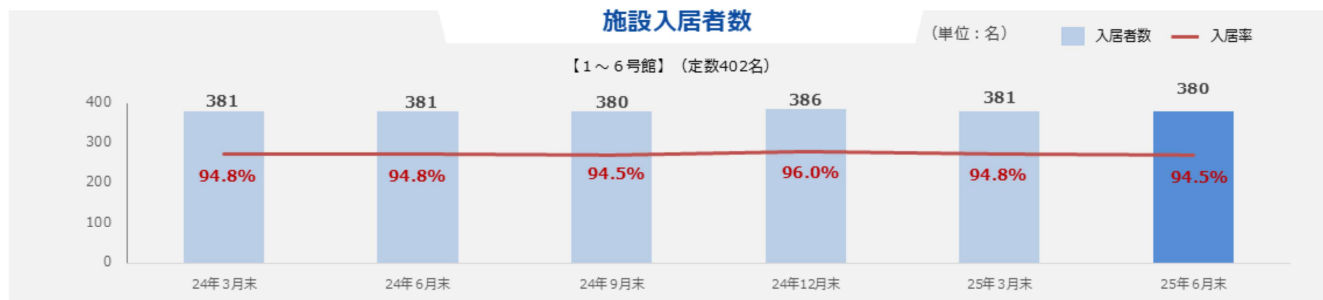
●介護・福祉サービス実績 ※内部取引は消去

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	765	789	23	3.1%
売上総利益	86	99	13	15.2%

施設入居者数

(単位：名)



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

12

こちらのスライドは、その他セグメントに含まれる介護事業を示しています。

スライドに記載のとおり、介護施設全体の入居率は94.5パーセントと非常に高い水準で推移しています。その結果、売上高は前年同期比3.1パーセント増加、売上総利益は前年同期比15.2パーセント増加しています。

連結売上高構成比

(単位：百万円)

■オートモーティブ ■セミコンダクター ■エレクトロニクス

2,732 (10.9%)	△1.2%	2,701 (10.8%)
3,259 (13.0%)	+12.2%	3,658 (14.7%)
10,209 (40.6%)	△2.7%	9,934 (39.8%)

※ () 内%は連結売上高比、赤字の%は、前年同期比伸長率

※前年同期比

		オートモーティブ インダストリー (自動車製造・ EV関連製造業界)	セミコンダクター インダストリー (半導体製造業界)	エレクトロニクス インダストリー (電子機器製造業界)
第1四半期	売上高	減少	増加	減少
	在籍人数	減少	増加	減少
	稼働状況	増加	減少	増加
	要員状況	減少	増加	横ばい

米国関税の影響が少なかったセミコンへ、営業および採用リソースをシフト

インダストリー戦略におけるインダストリーごとの推移です。

先ほど申し上げた関税の影響などもあり、オレンジ色で示したオートモーティブインダストリーにおける在籍人数が減少しています。その結果、売上高は前年同期比で2億7,500万円減となり、2.7パーセントの減少となりました。

一方、半導体分野では、先ほど述べた研修などを含めて前年同期比で12.2パーセントの増加を記録しています。米国関税の影響が少ないセミコンダクターインダストリーに軸足を置きながら増加させているため、これは非常にプラスであると言えます。

ただし、米国関税の影響が直接的に現れているわけではないものの、在籍人数を増やすことに一定の影響を及ぼしている点は間違いないと見て良いのではないかと考えています。

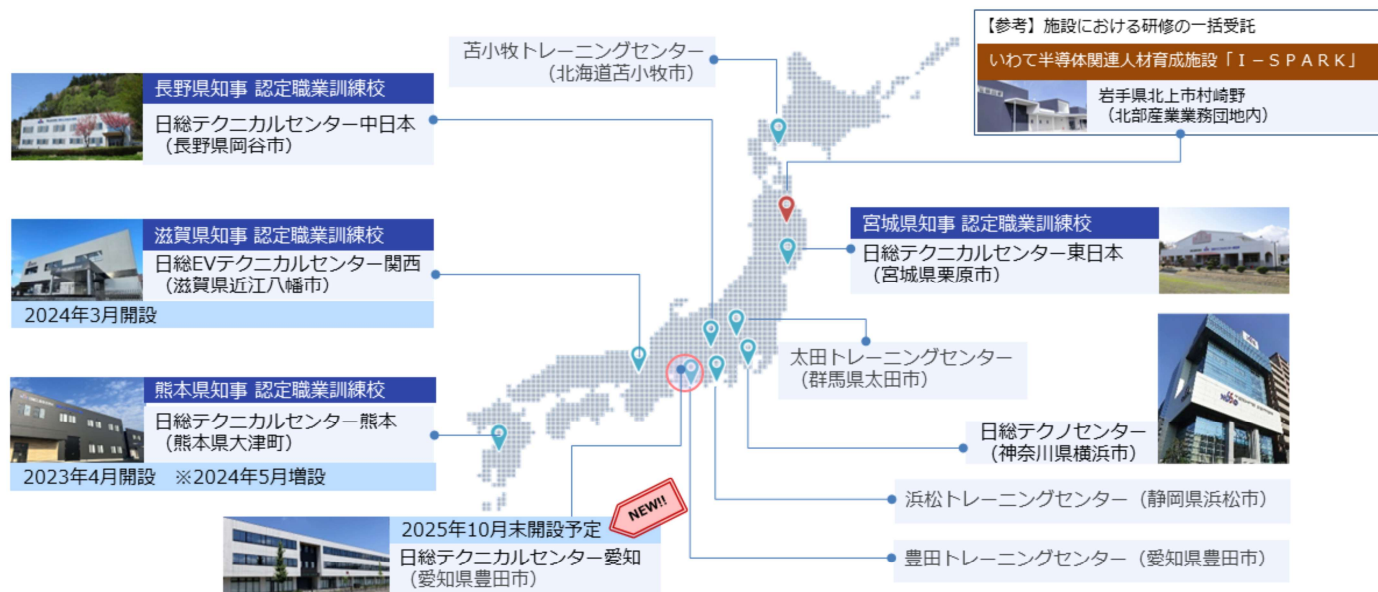
	オートモーティブインダストリー (自動車製造・EV関連製造業界)		セミコンダクターインダストリー (半導体製造業界)		エレクトロニクスインダストリー (電子機器製造業界)	
設備投資	くもり 	足踏み	晴 	拡大	くもり 	停滞
生産動向	くもり 	増産・減産が混在	曇時々晴 	緩やかに増加	くもり 	増産・減産が混在
稼働動向	くもり 	通常稼働	晴 	通常稼働	晴 	通常稼働
要員動向	曇時々晴 	増員・停滞が混在	曇時々晴 	緩やかに増員	くもり 	増員・停滞が混在

産業毎の生産品目に加え、各メーカーの濃淡がより鮮明に。米国関税による生産への影響は引き続き不透明。

インダストリー戦略における天気図です。記載のとおり、稼働状況についてはセミコンダクターインダストリー、エレクトロニクスインダストリーともに良好です。

特に要員動向については、オートモーティブインダストリーにおいて濃淡がはっきり出ていること、将来を見据えた模様眺めの影響でオーダーが顕著に表れていない状況が見受けられます。

一方、セミコンダクターインダストリーの要員動向については、半導体の製造品目によるばらつきはあるものの、非常に忙しい分野では堅調に推移しており、緩やかに増員に向かっています。



Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

15

当社グループの研修施設についてです。今後のトピックスとして少し触れますが、ここでお伝えしたいこととして、今年10月末を目処に、愛知県に新しいテクニカルセンターの開設を目指していることが1点目に挙げられます。

2点目はご参考までにお伝えすると、いわて半導体関連人材育成施設として、岩手県が「I-SPARK」をオープンしており、この施設の研修を当社が一括して受託しています。当社の施設ではありませんが、うまく活用することで東北エリアにおける半導体人材の育成につながると考えています。

● 2026年3月期 第1四半期 教育実績（延べ人数）

ポイント

- エンジニア系研修では、前年同期比で減少。
※前年同期：534名
- NISSO HR Development Service（外部社員研修）のニーズは季節性があるものの順調に拡大。
※前年同期：139名

区分	研修内容	26年3月期 第1四半期
(直接系) エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	477名
(直接系) 製造生産系研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	3,751名
(直接系) その他研修	コンプライアンス定期教育 キャリア支援研修 資格（レベルアップ）研修等	712名
介護・福祉研修	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修 事故発生防止リスクマネジメント研修 感染症・食中毒予防研修等	444名
合 計		5,384名
外部社員研修（受託）	機械保全基礎 製造設備基礎 危険体感教育等	325名

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

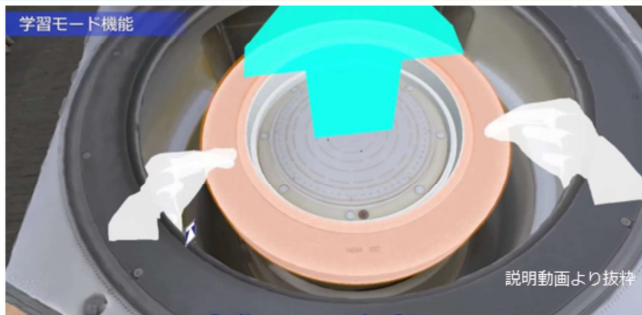
16

こちらは、毎回掲載している教育実績です。

第1四半期のエンジニア系研修の実績を前年同期比で見ると、前年は534名に対し、今年は477名と若干減少しています。具体的には57名減少しており、この点を改善しなければエンジニアの数を増やすことができません。そのため、今後さらに積極的に取り組んでいこうと考えています。

一方で「NISSO HR Development Service（外部社員研修）」、いわゆるメーカーの社員の方々の育成に関しては、前年の139名に対して今年は325名と、前年同期比で186名の大幅増加となりました。

こちらは、研修事業の拡大としての側面もありますが、それ以上に、メーカーの方々が新入社員やキャリアチェンジをする方々の教育を積極的に当社が受託できていることを示しており、お客さまからの信頼性の向上が裏付けになっていると考えています。



半導体人材育成に向けたXR教育システムを開発

- ・MR・VRを活用した教育システム（以下：本システム）が完成、全国のテクニカルセンターでの運用を開始
- ・本システムでは半導体製造装置（エッチング装置）の基礎知識とチャンバークリーニング作業の手順を場所を選ばず学ぶことが可能
- ・受講結果の管理や理解度のチェックをシステム上で管理でき、エンジニアの質と量の向上に寄与

※紹介動画URL:<https://youtu.be/YnrQqVjAV6Q>



新たな研修施設を2025年10月末に開所予定

- ・2025年10月末、愛知県豊田市に日総テクニカルセンター愛知を開所予定
- ・テクニカル教育とスキルトレーニングを融合させた研修に加え、スマートテクノロジーを活用できる人材の育成にも挑戦
- ・未来対応力を育むための知識・技術の伝承、現場で生きる技術力の向上を目指し、単なる知識だけではなく、実践的な人材育成に取り組む

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

17

トピックスです。スライド左側は、従来開発に着手していた、いわゆるXR教育システムの一部がローンチし、スタートしたことを示しています。こちらは、MR技術を使用しながら、実際に装置に触れているかのように研修できるシステムです。

今後はこのシステムのさらなる開発を進め、当社のテクニカルセンターで教育できる人数や効率を増やすこと、また、実機を用いた研修後にこのMRの研修カリキュラムを活用して復習することで、理解度や習熟スピードの向上が期待されます。

次に、スライド右側についてです。先ほど少し触れた愛知県豊田市に開設する「日総テクニカルセンター愛知」についてご説明します。

この施設では、従来の研修に加え、メーカーにおける生産技術や設備技術者の育成に重点を置いています。また、昨今の製造業で必要性が高まっているAIを含めたIT技術者の育成も、この施設を活用して行っていく計画です。

●2026年3月期 通期連結業績予想数値（2025年4月1日～2026年3月31日）

（単位：百万円）

	25年3月期実績		26年3月期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	101,560	100.0%	115,000	100.0%	13,439	13.2%
営業利益	3,555	3.5%	4,000	3.5%	444	12.5%
経常利益	3,563	3.5%	4,000	3.5%	436	12.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,935	1.9%	2,500	2.2%	564	29.1%

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

18

通期連結業績の予想です。期初に設定した予算から変更はありません。

前年と比較すると第1四半期は減収減益となっていますが、当初からある程度織り込み済みであり、ほぼ予算と同じレベルで推移しています。そのため、現段階では期末予想を修正する必要はないと判断しています。

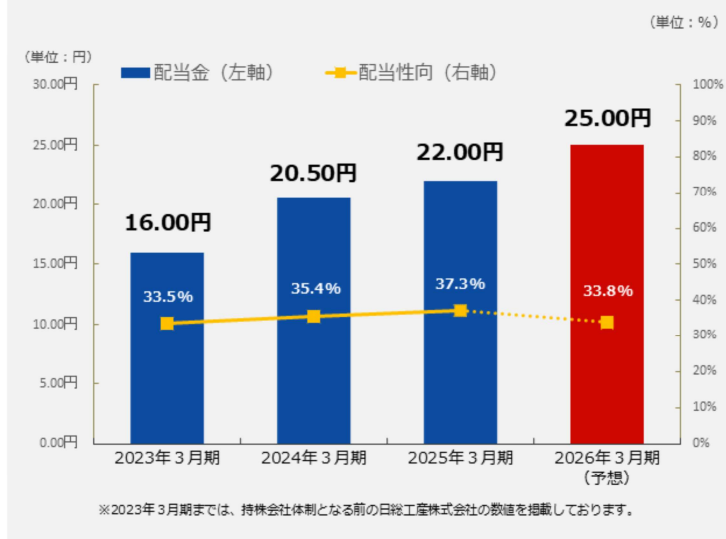
基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2026年3月期の配当予想

1株当たり配当金額は25.00円（連結配当性向は33.8%）を予定しております。

配当金と配当性向



株主還元方針について、配当と配当性向に関する内容です。こちらは、順調に配当金額を増やせていると考えています。当社は連結配当性向30パーセント以上を目安とし、安定的に配当を増やしていくことを基本方針としています。

財務状況：連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

ポイント

① 企業結合

株式の取得に伴う連結子会社の増加により、資産及び負債が増加しました。

② 納税

法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」が減少しました。

③ 賞与支給

6月の夏季賞与支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

④ 借入・返済

短期運転資金の調達により、流動負債の「短期借入金」が増加しました。また、借入金の約定返済により固定負債の「長期借入金」が減少しました。

⑤ 全体

上記の結果、前期末比で資産合計が13.0%増加、負債合計が27.6%増加、純資産合計が0.3%増加となり、自己資本比率は46.9%となりました。

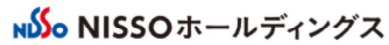
	25年3月末		25年6月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	20,408	65.3	21,370	60.5	961
現金及び預金	8,186	26.2	7,217	20.4	▲968
受取手形及び売掛金	11,223	35.9	12,577	35.6	1,354
固定資産	10,867	34.7	13,957	39.5	3,089
有形固定資産	5,337	17.1	5,624	15.9	287
無形固定資産	1,414	4.5	3,657	10.4	2,242
投資その他の資産	4,115	13.2	4,675	13.2	559
資産合計	31,276	100.0	35,328	100.0	4,051
流動負債	12,233	39.1	16,056	45.4	3,822
短期借入金	-	-	2,400	6.8	2,400
未払費用	6,174	19.7	7,565	21.4	1,390
未払法人税等	771	2.5	38	0.1	▲733
賞与引当金	1,551	5.0	935	2.6	▲615
固定負債	2,247	7.2	2,425	6.9	177
長期借入金	1,038	3.3	915	2.6	▲122
負債合計	14,481	46.3	18,481	52.3	4,000
株主資本	16,399	52.4	16,462	46.6	63
非支配株主持分	295	0.9	285	0.8	▲9
純資産合計	16,795	53.7	16,846	47.7	50
負債純資産合計	31,276	100.0	35,328	100.0	4,051

Copyright © 2025 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

20

買収などによって財務状況が大きく変化したため、その点について注記を加えています。

働きものを、幸せものに。



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社 広報・IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso-hd.com>

以上をもって、2026年3月期第1四半期の決算説明を終了します。ご清聴ありがとうございました。